

# ウエルハーネスだより



183号

## 理事長からの言葉

夏空から何となく秋を感じさせる空に変わってきました。夜になると虫の声も聞かれるようになってきました。

夏の終わりが近づいています。猛暑から一転して大雨の毎日、天候は相変わらず不順で極端です。被害にあわれた方には心からお見舞い申し上げます。

コロナ禍の中、東京オリンピックが開催されました。日本選手団の毎日の活躍は、日々のどんよりしたやるせない空気を少しでも明るくしてくれたのではないのでしょうか。それにしても、最近の若者のここ一番の勝負強さは目を見張るものがあります。アーチェリー団体で最後10点を出さなければ、メダルが取れない、そんな場面ですっかり10点を取る。スノボの10代選手の活躍、まさしく真夏の大冒険。女子バスケの銀メダル、信じられない。自分自身が少し携わっていたソフトボール、その頃は銅メダルが精いっぱいだったのに。やる前は、何でオリンピックなんだとと思っていましたが、やってみるとよかったなと思っています。ただ、やらなければやらないでも別に良かった、それが国民の大多数の感情ではないでしょうか。

さて、新型コロナウイルス、変異型が猛威を奮っています。皆さん、ご存知のように病床の不足により、り患しても重症化しなければ、在宅での療養ということになります。病床不足は深刻です。コロナではなく、一般の患者の受け入れも厳しくなっています。別の施設で脳梗塞の発作かと思われる症状で、今すぐ生命を失うことはないものの、すぐに治療しないと後遺症が残るという状態の方が、搬送先が見つからず救急車が2時間近く施設に止まっていたということがありました。搬送先も遠く行田市になったそうです。また、私の友人の父親は、がんが見つかり、普通ならすぐ手術するところですが、高齢ということで進行が遅いからと手術は先延ばしになったとのことです。コロナ病床確保のため、今後もこういったことは続いていくのではと思います。

その、病床不足の原因の一つが人員不足です。コロナウイルス感染者は軽度でも2週間自宅療養等隔離されます。同僚や家族等、濃厚接触者に認定されると、PCR検査が陰性でも感染者と最後に接触した時から、2週間自宅待機になります。もし家族が感染して自宅療養だった場合、関わらないわけにはいかないでしょうから、長い場合、感染者の隔離解除まで2週間、濃厚接触者はさらにそこから2週間と約

上尾市向山1-14-7  
社会福祉法人 竹柿会  
TEL: 048-782-0575  
FAX: 048-782-0590  
令和3年8月26日発行

1か月の自宅待機ということになります。この濃厚接触者の扱いを何とか弾力的にしていかないと、これだけ感染が広まると、病院に限らず多くの職場で深刻な人員不足になっていくと思います。

これを解決するには、思い切って感染症の指定を現在の2類からインフルエンザ並みの5類に切り替えるしかないのではと思います。軽症者や濃厚接触者を管理するのはやめて、中等以上の症状の方に保健所を含めて持てる医療体制の全力を注ぐというのは無責任と言われてしまうのでしょうか。一気に5類というのは難しいと思いますから、現在の扱いのうち、5類にできるものから始めていくというのが現実的なのかなと思います。限られた資源(ヒト・モノ・カネ)を有効に使うことを考えないと今後の感染拡大の前に総崩れになってしまうのではと危惧しています。

## 7~8月の行事

【土用丑の日 鰻丼】

【屋台風 焼きそば&お好み焼き  
&スイカ】

【ドライカレー&唐揚げ  
ポテト&チョコバナナ】



特養では、お茶会や誕生日会を開きケーキを召し上がったり、プレゼントをお渡ししお祝いしました。また、スイカ割りやかき氷作りを行うユニットもありました。

デイでは、鶴の折り紙を並べて花火アート作りを行いました。また、8/4・5にはサマーパーティー&オリンピック記念として、ペットボトルや色紙、ビニールテープ等で工作した聖火リレーから始まり、ビンゴゲーム、体操、サッカーなどを行いました。

## 8~9月の予定

旬の昼食として9/9(木)に、栗ご飯を予定しています。

特養では、敬老の日のお祝いに、締め付けのないユッタリ靴下をプレゼント致します。また、昼食も敬老祝い膳を予定しています。

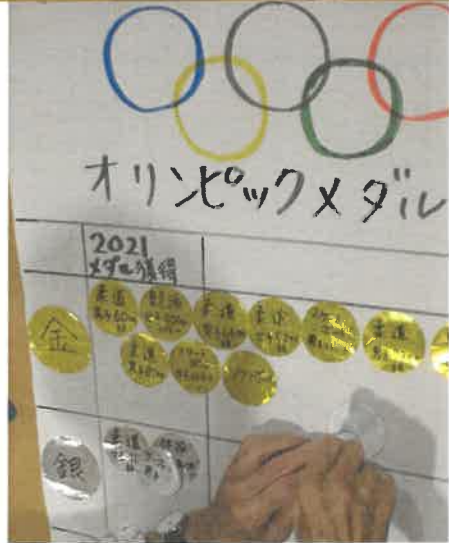
デイでは、お月見飾りや秋の壁画、ちぎり絵を作ります。また、お好み焼き作りも予定しています。







デイ  
サマーパーティー



デイ  
花火アート



特養 スイカ割り



特養 お茶会



特養 誕生日会  
フルーツポンチやプリン



かき氷レク

